

## 採点の誤りのなかった学校への聞き取りによるミス防止の取組

(平成27・28年度ともに誤りのなかった学校30校のうち10校から聴取)

- 採点・点検時に、管理職や入選担当が場面場面で、愚直に、丁寧に行ってほしいと、お願いしている。折に触れて注意喚起している。また、急がず丁寧にと言い続けている。
- 採点や点検時間が、教科ごとに異なるが、採点、点検、小計、合計と、区切りで待ってあげて、採点が早いからどんどんそこだけ点検を始めてしまう ことのないようにしている。
- 最初に採点したら、日を変えて、改めてフレッシュな目で再点検すること としている。でないと、ずっと採点して、引き続き点検しても、集中力が続かず、結局ミスを見つけられない。そうしたことに気をつけることで、ミスを見つけやすくし、誤りを防いでいる。これは前任校でも行っており、ミスはなかった。
- 本来は、採点日を2月19日としているが、22日も採点日として臨時休校とし、余裕をもって採点ができるよう、配慮していることもミス防止につながっているかもしれない。土日の採点も考えられるが、気持ちが採点に向きづらいと考え、避けている。
- 管理職が皆、入選担当経験者であり、採点や点検についてミスの起こりやすいところを感覚的にわかっており、また、教頭の教科が社会で、記述のところは特に神経をとがらせていたこと、なども要因としてあると思う。